

かをころこ
 きばびはび
 もうたゆあ
 のやだたふ
 はまかかれ
 ー
 ー
 ー
 ー
 世いみにさ
 ー
 ー
 ー
 ー
 とうにせ
 ー
 ー
 ー
 ー
 などあわた
 ー
 ー
 ー
 ー
 しぶり
 れん
 も

イエスは、彼らの心の思いを見抜き、ひとりの幼な子を取りあげて自分のそばに立たせ、彼らに言われた、「だれでもこの幼な子をわたしの名のゆえに受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。そしてわたしを受け入れる者は、わたしをおつかわしになったかたを受け入れるのである。あなたがたみんなの中でいちばん小さい者

6

その心は主の 恵みに満ちて
神の子らとして 自ずと振舞う。

7

幼^{おさ}な子^ごの心 見せかけはなく
その内^{うち}に 主こそ住まわせたもう。

8

その心は主の 御旨^{みむね えら}を選び
罪^{いた}の痛みより 守^{まも}られ生^いくる。

9

幼な子^{なげ}の心 み手にひかれて
嘆きと十字架も ひるまず担^{にの}う。

10

その心たえず 神に目を向け
御顔^{みかお あお}を仰ぎ見 喜^むび生くる。

11

その心全く 御神^{みかみ たよ}に頼り
迎^{むか}えに來られる 主^こを待^まち望^{のぞ}む。

12

人々が遠^{とお}ざけ 避^さくる人をも
その心はなお 愛^{むか}もて迎^{むか}うる。

13

とがめを受^うくとも 心^やは病^{ほこ}まず
誉^ほめらるときにも 誇^{ほこ}りを抱^{いだ}かず。

14

「幼な子のごとく 神^{くに}の国をば
うくる者^{もの}ならずば 入^いること能^{あた}わず」

15

愛すべき心 なれは主イエスの
人のため死にし 心を知るらん。

16

うえなく清^{きよ}らの 心^{きよ}のイエスよ
その心われに つくりたまえや。

17

御神の御子なる 主よわが意^い志^しを
永^{とこ}久^{しえ}になれの 物^{もの}としたまえ。